

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) DOWAエフテック株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒708-1523 岡山県久米郡美咲町吉ヶ原1045	
本票作成	部署名：DOWAエフテック(株) 本社 管理部				
主たる業種	分類コード	1	6	業種名：化学工業	
事業の概要	設立：1922年(大正11年)6月 従業員数：36名 事業内容：ボンド磁石用ハートフェライト粉の製造 現在：生産量(約) 650 t/月 岡山を拠点に、世界へ供給				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	柵原工場		岡山県久米郡美咲町吉ヶ原1089	
	②	塩田工場		岡山県和気郡和気町塩田314	
	③	本社棟		岡山県久米郡美咲町吉ヶ原1045	
	④	物流センター		岡山県和気郡和気町矢田1004	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 4 所 ●車両台数(②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度 ( 5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 5.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準						○	
温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)			目標年度(平成 26 年度)					
	6,530 t CO <sub>2</sub>			6,204 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度(平成 21 年度)の排出量					
	①	柵原工場		6,210 t CO <sub>2</sub>					
	②	塩田工場		223 t CO <sub>2</sub>					
	③	本社棟		90 t CO <sub>2</sub>					
	④	物流センター		7 t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量 (ton/年)	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		1.0070 t CO <sub>2</sub> / (生産数量)	0.9566 t CO <sub>2</sub> / (生産数量)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 ( 年度)	達成率(%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

省エネ法第一種エネルギー管理指定工場として定められたエネルギー削減指針、5%/5ヶ年(平均年率1%/年)を指標に活動している。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

社長 - 製造部・技術部・その他（管理、開発、品証）・環境保安推進室（EMS事務局）  
 ISO14001(2004)：2004.3月認証取得  
 専門部会（責任者：社長任命による）・現場改革部会 責任者：社長 メンバー 10名  
 省エネ推進部会 責任者：製造部課長 メンバー 7名 その他（保全、品質、その他）

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
柵原工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・焼結炉の大気放出（廃熱）を乾燥炉への有効活用</li> <li>・加熱炉のフリーエア防止体策及び放熱遮断シール設置</li> <li>・加熱炉の更新（バーナー更新：燃料効率アップ）</li> <li>・大型モーターのインバーター化</li> </ul>

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
柵原工場 昨年実施	焼結炉の廃熱を乾燥炉への有効活用・加熱炉の更新・加熱炉のラビリンス改善
柵原工場 今後取組み	焼結炉の出口側レンガ更新による放熱低減・焼結炉の燃焼条件の最適化・焼結炉工程での切り替えロスの低減による原単位アップ・加熱炉のバーナー単独制御で燃料効率アップ・加熱炉工程での切り替えロスの低減による原単位アップ・粉砕・湿式工程（大型モーター設備）での稼働効率化（生産性向上）・RK稼働（条件）最適化、RMメンテナンス実施・デマンド管理・深夜電力の有効活用・加熱炉の生産性向上

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

--